

普及活動情勢報告（令和4年5月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

サトイモ栽培に挑戦！

・・・（農）三里営農組合・・・



4月19日、四万十市の（農）三里営農組合がサトイモの定植作業を行い、組合員4名が参加しました。

当組合は、昨年度から水稻栽培を開始し、今年度はサトイモ栽培にも取り組むこととなりました。農業改良普及課は、サトイモの地域適応性の検証を行うため実証ほを設置し、畝立てや植付け方法などの指導を行いました。

今後は、実証ほの調査と栽培指導を行い組織の収益アップに向けて支援していきます。

ユズ産地の担い手をチームで支援する！・・・三原村新規就農支援チーム現地確認・・・



4月27日、三原村の新規就農者2名に対して、関係機関やJA三原支所柚子部会からなる新規就農支援チームがユズの現地指導を行いました。

柚子部会長からは作業の段取りについて、農業公社からは機械レンタル時の注意などについて情報提供があり、農業改良普及課からは、今年の着花不足の対策や施肥について情報提供を行いました。

今後も、新規就農者の経営安定に向けて、きめ細かい指導を行っていきます。

西土佐地区での米ナス振興に向けて・・・共同選果の試行準備・・・



5月11日、四万十市西土佐総合支所で、米ナスの共同選果の試行実施に向けて、JA高知県西土佐支所、市役所、振興センターの6名で、検討をしました。

現状、農家は個々で選別・箱詰めを行っており、栽培管理の不足や規模拡大が難しい状況となっています。そのため、共同選果を行うことで農家の労力軽減と規模拡大が可能となります。

協議では、6月から4戸で共同選果を試行し、併せて、出荷場選果員に対する選果指導を行うことが決まりました。

農業改良普及課は、共同選果の実施に向けて関係機関と協議を行っていきます。

「加工」から「販売」へステップアップ！・・・グリーンパイヤクラブ支援チーム会・・・



4月19日、大月町農村環境改善センターで、パイヤの商品開発に取り組むグリーンパイヤクラブ（大月町3名、四万十市1名）の1回目のチーム会を開催しました。

昨年度は、6次産業化セミナーに参加して、グリーンパイヤを使った商品を検討し、「グミ」や「しょうが焼きタレ漬け豚肉」のレシピが完成しました。今年度は、包装資材や販路等の検討を行う計画となっており、チーム会で計画の内容を確認しました。

農業改良普及課は、今後もアドバイザー等の支援も受けながら、販路開拓や目標販売額の達成に向けた支援を行っていきます。

常温煙霧について学ぼう

・・・春野キュウリほ場へ視察研修・・・



4月25日、常温煙霧機について学ぶため、黒潮町のキュウリ生産者7名とJA職員3名、農業改良普及課職員3名で高知市春野町のキュウリほ場（2カ所）に視察を行いました。

現地では、ほ場主から散布方法や使用した効果や感想、注意点などを聞いたあと、稼働している様子を見学しました。参加者からは、「防除を省力化できるメリットを感じるが、一方で、使用時期や薬剤が限られる点が気になる」という意見も聞かれました。

農業改良普及課では、他産地の情報を収集するとともに、令和5園芸年度に実証試験を実施し、実用性について検討を行い、生産者へ周知して行く予定です。